

日 時 令和2年7月31日(金) 14時～16時  
場 所 榛原庁舎4階会議室  
出 席 者 別紙のとおり(種茂委員、柴田委員欠席)

## 1 開 会

### 2 挨拶(石川部会長)

- ・コロナウイルスは公共交通についても大きな影響が出ている。今回の評価はコロナ発生前の昨年度実績を基にした評価となるが、コロナ禍を踏まえた対策を進めてほしい。
- ・本年6月の法律改正では、地域で公共交通に関する評価をしっかりとやる旨の記載がある。
- ・評価改善部会を公共交通会議の下に設置している市町はほとんど無く、法改正の趣旨を踏まえた先進的な取組でもある。

## 3 協 議

### (1) 令和元年度評価報告書について・・・(承認)

#### 【質疑応答】

##### (鈴木委員)

事業13で、職員のバス利用が普及しなかった理由は。

##### (事務局)

相良庁舎の組織は現場を持つ課が多いため、榛原庁舎へは現場を経由してくるため、バスを使うのが難しい職種。一方で、榛原庁舎の組織は事務系の課が多いため、利用は榛原庁舎の職員が相良庁舎に行く際にバスを使うのがメインとなる。しかし、会議の時間がバスの時刻に合わないことも伸び悩む原因か。

##### (鈴木委員)

私も相良庁舎にいますが、バスを使おうとは思わない。バス停から遠いとか本数の問題だと思ったが。

##### (事務局)

そうではないと思う。なお、特急バスを使って県庁に出張する職員は多くいるが、この評価のカウントでは地域間幹線や自主運行バスの利用者に限りカウントしている。純粹にバス利用者と言えばもっと多い。

##### (石川部会長)

トップから職員へバス利用を指示することはできないのか。課レベルだと聞き流してしまうだろう。

##### (事務局)

強化月間を設定しており、市長を含めて周知はしているが強制力もないため利用者は増えないのが現状。

##### (増田委員)

事業14の企業連携について、企業のバス利用状況は把握しているか。

##### (事務局)

- ・通勤で使えないかの確認は過去に実施した。矢崎のバス利用者は意外というが、他の大きい企業ではほとんどいない。
- ・通勤の場合、乗り換えがあることや地元通勤者が多いためバス利用は難しい。バス通勤へ

の切り替えを提案したこともあるが、難しいという答えだった。

(増田委員)

大きい企業の本社は東京だが、こちらに来た時には特急＋タクシーで訪れるのか。

(事務局)

多くは掛川駅まで新幹線に来て、迎えに行っているようだ。企業からは掛川駅まで行けるバスを望む意見もある。萩間線沿線の企業が、萩間線－金谷駅－掛川駅という方法は取らないようだ。

## (2) 計画における数値目標の達成状況について . . . (承認)

### 【質疑応答】

(東海タクシー 大塚委員)

客は身勝手なもので要望して走らせても使わない。地域で声を掛け合ってもっと使ってもらいたい。

(杉林委員)

周りでも、高齢者の方が運転を控えてバスに移行した方が出てきた。高齢者の自転車も怖い。片浜在住なので藤枝相良線が非常に便利。バスは便利ということを周知して、皆で声を掛け合って乗ってもらいたい。

(大塚委員)

バスは乗り慣れば便利。特急線をたまに利用するが非常に便利だ。

(石川部会長)

交通安全の面でも効果的。モビリティマネジメントとして、実践している高齢者の方が高齢者に説明する機会があれば説得力が増す。車を運転する職員が説明するより、バスに切り替えた方の体験を説明した方が共感を得やすいだろう。

(増田委員)

- ・利用者はどのように支払っているかを考えると、現金払いは運賃を高く感じやすい。払いやすく乗りやすいものにしたい。
- ・静岡空港から出雲大社に旅行した。電車とバスだと 750 円だが、電車とタクシーだと 1 時間早く着いて 3,400 円。どちらを取るか相談したが、高くても時間を取ってタクシーを利用した。しかし、出雲のタクシーは現金しか使えなくてびっくりした。
- ・バスやタクシー運賃をいかに簡単に支払えるかが課題で、それが政府の進めるキャッシュレスだろう。

(石川部会長)

カードやスマホ払いだとお金が足りるかや、両替の心配が無い。選択肢を用意するのが重要だ。

(大塚委員)

- ・高齢者の多くは現金払い。カード払いも増えてきたが、事業者は手数料を支払わなければならない。良い面ばかりではない。
- ・カード払いには対応しなければならず全車に入れたが、数社に絞らないと対応できないだろう。

(鈴木委員)

他の市役所だと庁舎前にバス停があるが、牧之原市は両庁舎ともに離れているので歩かなければならない。い～らにも通れば良いと思う。みなさんが使う方向にバス停を置けば、高齢者も利用者しやすくなる。

**(事務局)**

事業2は利用者が使いやすい場所へのバス停移動だが、庁舎近くのバス停は道路形状もありできない箇所もある。可能な範囲でのバス停位置の変更は重要なことだと思う。

**(大塚委員)**

バス停を欲しいと思うなら地域の協力も必要。ごみ置き場と一緒に、邪魔に思う方もおり、それを理由にバス停位置を変えた話も聞いた。

**(石川部会長)**

公共交通は市民の移動を支える大事なものという意識醸成も必要。

**(増田委員)**

県内でも無人バスを走らせる実証試験をしている地域があるので、路線を変えるのではなく、営業所から庁舎を結ぶ自動運転バスを走らせる方が良い。

**(事務局)**

方法の一つ。沼津の無人バスを乗車したが、技術はもちろん道路環境の整備が必要と感じた。経費や維持管理の課題もある。もう少しスタンダードになってくれば可能性はある。

**(しずてつジャストライン 市川委員代理)**

将来的な課題には感じているが、試算すると採算が取れず、完全な無人には時間がかかると聞いている。事業者が導入を希望しても、市、道路管理者、警察といった行政の許可も必要であるため、課題は多い。

**(石川部会長)**

技術は進んでいるので関係者の合意が必要で公共交通会議がその役割を果たさだろう。

## 4 報告

### (1) 相良営業所の移転について(しずてつ 市川氏説明)

- ・バス停については、無くなるのは困るが家の前に置かれては困るという方もおり、自治会に協力を求める場合もある。
- ・営業所移転は、建物老朽化や車両保管スペースの確保、BCPの観点から決定した。
- ・バスの整備工場、ガソリンスタンド、洗車場、バス60台、従業員用30台、来客用の駐車場、事務所、寄宿舍を整備する。
- ・10月竣工、運用開始予定。
- ・現相良営業所の建物は取り壊し予定、土地は親会社の静岡鉄道に返すが、活用は未定と聞いている。乗り継ぎできるようにバス停は残す。
- ・特急線、藤枝相良線、相良渋谷線は新しい相良営業所まで延伸する。新相良から現相良までの間に新たなバス停を1ヶ所設置予定。
- ・自主運行バスは、これまでどおり現相良営業所を終点とする。
- ・バス停名は、新しい営業所を「相良営業所」として、現相良は地名、近隣の施設名を参考に検討中。
- ・市の広報に協力いただき周知に努めたい。

### 【質疑応答】

**(榛南交通 鳥田委員)**

現在の相良営業所は、先ほど意見でも出た送迎者の待機場所がない状況だが、移転後はどうなるのか。

(市川委員代理)

移転後も特に設けない。

(鳥田委員)

送迎車両の路上駐車が多く連なっているので、中まで入れるようにしてほしい。

(市川委員代理)

この場では決められないのでご意見のみ頂戴する。

(増田委員)

タクシーはどこで待機するのか。

(市川委員代理)

タクシーの待機スペースは設ける予定は無い。

(増田委員)

今よりも悪くなってしまう。タクシーとバスの接続を考えてほしい。警察はしずつに配慮して路上駐車については何も言わない。道路上にバス停を置いて、あれだけのバスを走らせて大丈夫か。本数と乗る人数を考えないと、捌かしきれない。

(市川委員代理)

影響が出ることは予想しているが、警察には相談済みである。片側1車線のものをもすぐに2車線にはできない。であればバスカットということになるが、現営業所の跡地を利用することも検討したい。

(増田委員)

パークアンドライドも考えていただき、増やす施策を考えてほしい。

## 5 閉 会